



租税教育のねらい

次世代を担う児童・生徒が社会や国を支える税の意義や役割を深く理解し、**税を通じて国や社会の在り方について考える。**

「児童・生徒の租税教育に関する座談会」の開催についてより抜粋

実践のねらいについて



税を通じて国や社会の在り方について考える。



なぜ今はお金で税金を納めているのに、昔は米や布や特産品だったのだろうね。

税を通じて国や社会の在り方について考える。

租税教育

約50種類	消費税	消費税
消費税	関税	消費税
国税、所得税 etc.		
アメリカ	711 = ヒロ!	
	5011	
税金 X → 月 199 81000円!		
学校 → 20億	税金は、	
保健 → 5億	すべての国民が	
公園 → 1億 (40) 25万	健康で豊かな	
バス → 1000円	生活を	
税金 → 12900円	おくれるように	
バス → 3000	するために	
バス → 5万	みんなが出し合	
バス → 11万2千円	合費である。	
バス → 10億		
1億の車		

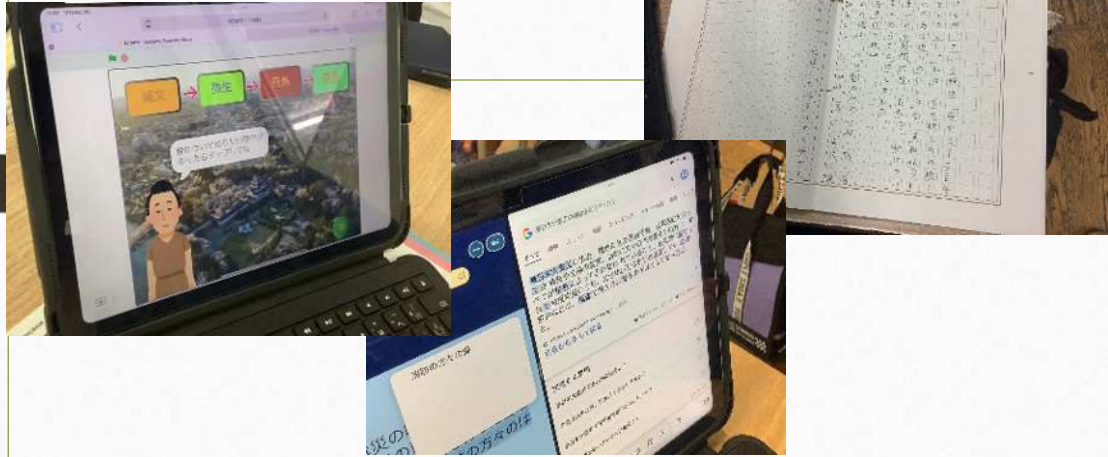
初年号...大化	租
豪族の土地や人とは	3%を
国のもの	納め
豪族	
貴族になり、政治参加	5月
藤原京...飛鳥(奈良県)	特産物
法律...律令	5月3日
租、調、庸	
	年間10日
	郡で働く
	かわりに
	布を納める

まとめの方法

- 児童は1～2月にまとめを行います。まとめる方法は各自が選択します。
 - ①scratch (プログラミング) <https://www.youtube.com/watch?v=qJ1wZr9SyJY>
 - ②ロイロノートやキーノート(パワーポイントのようなプレゼンテーションアプリ)
 - ③画用紙または模造紙
 - ④作文や文章
- 自分の理解度や実態に合わせて自己決定していく。



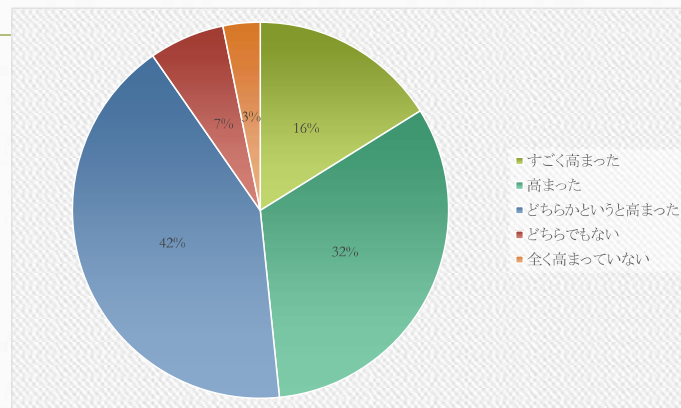
具体例



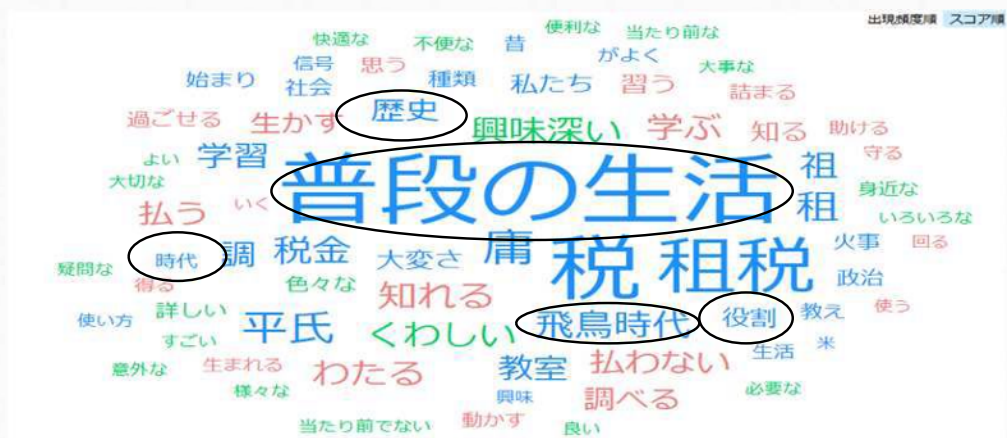
図書館の活用について



児童への中間アンケート結果から



テキストマイニングの結果から



児童の中間感想



- 最初税はいらないものだと思っていたけど勉強をして生活するためには税は必要なものだと分かった。
- 税には色々な種類があり、とても昔の時代から税はあったのだと改めて実感しました。
- 今回の税について調べて学んだ事、租税教室での方々のお教えなどがこれからも興味を示せたらいいのかなと思います。
- 税について学んでみて昔の税金について詳しく知れたし、昔の税と今の税を比べて見たりしたら全然違ったりしてもっと詳しく調べたいと思いました。

今後の学習

時代ごとの暮らしや時代背景によって税の仕組みや納めるものが違う。



政治・経済の分野（現代）にも生かす。



国や社会の在り方について考える。

成果

成果

- 1 単元ではなく、教科として税を柱に貫いたことで、児童が長期的に税について意識することができてきた。(継続)
- 2 当初から、まとめる方法と調べる時代を選択するように声掛けしたことで、自分の興味がある時代の税について見通しを持って理解を深めることができています。(継続)
- 3 指導する側として「この単元で行わなければならない」や「〇月までに完成しなければならない」といった義務感がなくなり、長期的に税に興味を持たせることができた。

課題

- 社会科の学習を貫く柱として「税」を設定するため、教師側の意識がより重要になってくる。
- まとめる方法をいくつか設定したことで、時間的な差が生まれるのではないかと懸念している。その都度実態に合わせて変えていくことも必要になってくる。
- 理解が深まった児童もいたが、まだ、興味関心の高まりや理解度が低い児童もいるため、今後どのようにアプローチしていくかを考える必要がある。

おわりに

4月



8月



8月以降

